

木島山産 信州プレミアムカラマツ に高値!

令和4年8月24日に北信木材センターで開催された原木市に、北信森林管理署から出品した信州プレミアムカラマツの5本すべてが高値で落札されました。

出品された5本はいずれも産地が木島山国有林153か林小班、樹齢は100年で、18号物件の価格(単価)はこれまでの最高額をなりました。

なお、信州プレミアムカラマツの落札結果は次のとおりです。



7号物件
4.0m×34cm
単価: 36,000円



8号物件
4.0m×36cm
単価: 36,000円



18号物件
4.0m×44cm
単価: 51,000円

★ちなみに★

H29~R3の信州プレミアムカラマツの落札単価トップ3は以下のとおりです。

1位 単価 50,000
(R3 北信署 4.0m×42cm 110年生)

2位 単価 48,000
(R3 北信署 4.0m×40cm 110年生)

3位 単価 45,000
(R3 北信署 4.0m×40cm 106年生)

単価 45,000
(H30 木管署 4.0m×44cm 96年生)



19号物件
4.0m×42cm
単価: 50,000円



20号物件
4.0m×38cm
単価: 40,000円

注) 単価とは、1m³当たりの材の価格(税抜き単価)のことです。

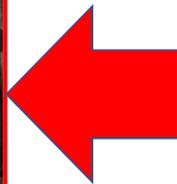


鮮やかな木目に感動！

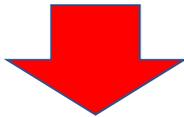
木島山産

JR篠ノ井線村井駅（松本市）の新駅舎の装飾に使用予定！

「信州プレミアムカラマツ」



のこ挽き作業
の様子



材面の木目が鮮やか



突板に製材したもの



令和4年度に管内の木島山国有林から生産された林齢99年から100年生の信州プレミアムカラマツの製材作業を視察しました。

同カラマツは昨年の北信木材センターの原木市で（株）青木屋が購入したもので、現在建替え中のJR篠ノ井線の村井駅（松本市）の新駅舎の装飾等に使用されるとのお話しをお聞きしており、製材された板材の木目を確認すると節もなく、きれいな木目がみられ、信州プレミアムカラマツの品質の良さをあらためて確認しました。

新駅舎が完成しお披露目となった際には、駅構内の信州プレミアムカラマツの様子をあらためて壁新聞にてお知らせします。

戸隠中学校による小鳥の巣箱掛け

令和5年4月13日、戸隠森林植物園において戸隠中学校の生徒の皆さんによる小鳥の巣箱掛けを行いました。

この巣箱掛けは、「鳥の生態を学び、自然豊かな戸隠で自然への理解や関心を深めること」を目的とし伝統的に実施されている行事で、園内の野鳥の営巣の手助けとなっています。老朽化した巣箱を撤去し、学校で制作した新しい巣箱に交換しました。

生徒の皆さんは笑顔で作業を終え、植物園をあとにしました。



始まりの会



古い巣箱の撤去



新しい巣箱の設置

総勢約70名の大仕事

戸隠森林植物園

4月19日戸隠森林植物園にて、22日の開園に向けた準備作業を実施しました。

本作業は、関係機関が一堂に会し、また、企業や団体の皆さんもボランティアとして参加し、多岐にわたる膨大な作業を全員が一致団結して、1日でほぼすべての準備が完了しました。

同植物園の整備のため、資材やウッドチップを提供して頂いた長野国有林森林整備協会北信支部、オフィシャルサポーターの（一財）日本森林林業振興会長野支部、資材運搬にご協力頂いた信州林業株式会社、そしてボランティアとしてご参加頂いた長野国有林森林整備協会北信支部、ドコモCS長野支店、北信五岳トレイルランニングレース実行委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

4月22日開園

作業はすべてマンパワーと手づくりで



手作りの橋が完成！



開園準備に全力作業



開園準備完了！



ドコモの皆さん大活躍！！

戸隠森林植物園 開園準備



4月19日に実施した戸隠森林植物園の開園準備作業でボランティアとして参加したドコモCS長野支店の皆さんが、広い園内の各所で孤軍奮闘の大活躍でした。

強い日差しが照り付ける中、真っ赤なdocomoビブスを汗だくにしながら園内を歩き回り、様々な作業に一生懸命に取り組んで頂き、無事、開園準備を完了することができました。

ドコモCS長野支店の皆さん、社会貢献活動、本当にお疲れさまでした。

そして、植物園の開園準備にご協力を頂き、誠にありがとうございました。



ウッドチップ敷設作業



グリーンロープ設置



道標設置作業



橋の安定具合はどうか！



林野庁 中部森林管理局 北信森林管理署

令和5年度長野地域森林祭

令和5年5月27日、令和5年度長野地域森林祭が小川村「星と緑のロマンピア」にて開催されました。

長野地域森林祭は、森林・林業・木材業への理解を深め地域緑化と森林資源の整備の推進を目的とし、長野地域森林祭実行委員会が主催となり毎年開催されています。今回は関係団体企業や小川村緑の少年団など約130人が参加し、シャクナゲ130本、イロハモミジ50本、合計180本を植樹しました。

小川村「星と緑のロマンピア」は4月から6月にかけてシャクナゲが見頃となります。今回植樹したシャクナゲ・イロハモミジも美しい景観の一つとなる日が待ち遠しいです。



怪我なく植樹を終えました！！



530(ごみゼロ)運動

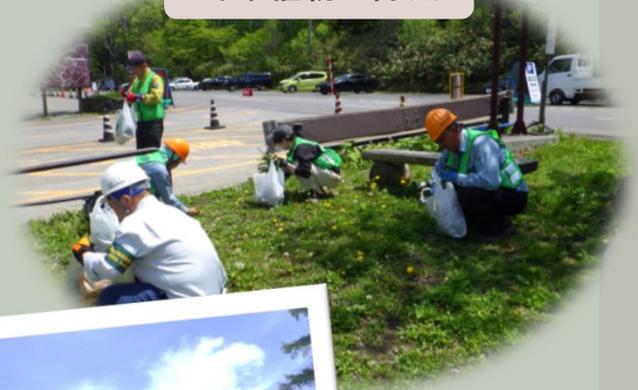
5月30日、「ごみゼロの日」に総勢50名がごみゼロ運動に参加しました。参加者は戸隠森林植物園や戸隠キャンプ場、周辺道路において、ゴミ拾いやハルザキヤマガラシ、ヒメジョオン、セイヨウタンポポといった外来植物の除去を行いました。

昨年からの除去作業の効果か、外来植物やゴミが減少しているように感じられました。今後も戸隠山麓の清掃美化の大切さをPRしながら、本運動を継続していきます。

セイヨウタンポポ
(外来植物)



外来植物の除去



道路沿いの清掃



回収されたゴミ

戸隠ふれあいの森植樹祭 開催

黒姫山国有林内の「戸隠ふれあいの森」において、6月4日（日）に戸隠ふれあいの森森林整備協会、（NPO法人戸隠森林植物園ボランティアの会、NPO法人やまぼうし自然学校）の主催による植樹祭がボーイスカウト長野第一団の子供達と保護者、協議会関係者や北信森林管理署の職員、約40名が参加し、盛大に開催しました。

この植樹祭は国民参加の森づくりの協定締結後、毎年開催され、コロナウイルス感染症の影響による縮小や中止もありましたが、昨年度から通常規模となり、今回で22回目を迎えました。

作業では、笹の根が繁茂した固い地面を大人たちが唐鍬やスコップで穴をあけ、子供達が苗木を植えるという連携作業で、ブナやトチノキ、シナノキやキハダなど六種類の広葉樹、合わせて260本をすべての植樹を完了し、参加者のみんなで達成感を味わいながら笑顔で現地を後にしました。



オープニングで、子供達に話しかけるように挨拶をする木村署長。（左側は協議会会長の水上さん）

僕たちと一緒に

大きくなろうね！

